



平成 27 年 9 月 8 日

各 位

会 社 名 MS&ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 柄 澤 康 喜
(コード番号：8725 東証・名証各第一部)
問合せ先 広報・IR 部課長 内 藤 雅 人
(TEL. 03-3259-1347)

三井住友海上による英国保険持株会社「Amlin 社」買収手続き開始の合意について

MS & ADインシュアランス グループ ホールディングス株式会社(社長:柄澤 康喜、以下「当社」)の子会社である三井住友海上火災保険株式会社(社長:柄澤 康喜、以下「三井住友海上」)は、英国ロイズ保険市場を中心にグローバルに保険事業を展開する持株会社である Amlin plc(以下「Amlin 社」)を完全子会社化する手続き(以下「本件買収」)を開始することについて、本日、同社と合意いたしました。

本件買収は友好的なものであり、Amlin 社の取締役会は本件買収について全会一致で賛同しております。

なお、三井住友海上は本件買収に関する英国の公開買付規則に基づく公表を、2015 年 9 月 8 日(現地時間午前 7 時)に英国において行っております。

1. 本件買収の背景

当社ならびに三井住友海上は、中期経営計画「Next Challenge 2017」のもと、成長の持続、健全性の確保、および収益性と資本効率の向上を基軸とした、企業価値の拡大に取り組んでいます。海外事業はそれらを支える成長エンジンの位置付けであり、成長性・収益性の高い領域へ継続的に投資することで、ポートフォリオの多角化を進め、リスクの分散と安定的な利益の拡大を図ってきました。

こうした戦略のもと、2004 年の英国 AVIVA 社のアジア損害保険オペレーションの買収を契機として、アジアを中心に業容を拡大し、アセアン地域において収入保険料規模でトップの損害保険グループへと躍進を果たしました。さらに、将来の成長が見込める新興国市場の深耕を通じて、収益基盤の強化を進めるとともに、世界の主要な保険市場である欧米においても、欧州大陸での元受事業やロイズ事業へ参入し、着実にプレゼンスを高めています。

一方で、海外事業のさらなる成長の実現および ERM 推進の観点から、三井住友海上の既存事業との地域的な重複が少ない欧米中心のポートフォリオを有し、高度なガバナンスと安定した収益が見込める英国のロイズ・シンジケートの買収について検討を重ねてきましたが、今般、ロイズで第 2 位のシンジケートを擁する主導的プレーヤーである Amlin 社との間で、買収手続きの開始について合意しました。

2. 本件買収の概要

- (1) 買収対象：Amlin plc
- (2) 買収手法：三井住友海上が Amlin 社の株式を 100%取得
- (3) 取得株式数、取得価額および取得前後の株式の状況

| | |
|-----------|--|
| 異動前の所有株式数 | 0 株 (議決権の数：0 個) (議決権所有割合：0%) |
| 異動後の所有株式数 | 517,658,935 株 (取得する議決権の数：517,658,935 個) (議決権所有割合：100%) |
| 取得価額 | Amlin 社の普通株式 ^(注1) ：約 3,468 百万ポンド (約 6,350 億円) アドバイザー費用等 (概算額)：約 70 億円 取得価額合計 (概算額)：約 6,420 億円 |

- (4) 買収条件：普通株式 1 株当たり 670 ペンス
買収価格は、同社の 1 株当たり有形純資産^(注2) 対比 PBR で 2.4 倍に相当します。また、買収プレミアムは既往 1 ヶ月の加重平均株価に対し 32.9%^(注3) に相当します。
- (5) 買収資金：本件買収の資金は、三井住友海上が保有する手元資金および外部からの調達資金^(注4) により充当する予定です。
- (6) 完了時期：関係当局の承認等を前提として、2015 年度第 4 四半期中 (2016 年 1 月 - 3 月) の完了を予定しています。

(注 1) 潜在株式を含みます。

(注 2) 2015 年度中間期末時の実績値

(注 3) 直近株価 (9 月 7 日終値) に対する買収プレミアムは 36.0%です。

(注 4) エクイティファイナンスは行いません。

※本資料では、為替レートを 1 ポンドあたり 183 円として換算しています。

3. Amlin 社の特長

- (1) 英国ロイズ・再保険市場の主導的プレーヤー
Amlin 社は、ロイズにおいて収入保険料規模で第 2 位の大手シンジケートを有し、スイス・バミューダを拠点とする再保険会社およびベネルクス地域を本拠地とする保険会社を傘下に持つ保険グループです。
- (2) 分散の効いたポートフォリオ
マリン分野はロイズにおいてトップのポジションにあり、特に小型船舶 (ヨット)・船主責任保険等の船舶種目やオフショアエネルギー分野に強みを持っています。
また、再保険分野では高度なリスクマネジメント力を武器に、ロイズにとどまらず欧州市場やバミューダ (北米) 市場へも参入しているほか、欧州大陸事業では大手・中堅企業のマリン種目など、いずれもロイズではアクセスが難しい契約を中心に引受を行い、分散したポートフォリオを構築しています。
- (3) 高い収益性と成長性の両立
2014 年度の業績は、収入保険料 2,564 百万ポンド (約 4,692 億円)、コンバインドレシオ 89%、純利益 236 百万ポンド (約 433 億円)、ROE 14.1%という高水準にあります。過去

10年間（2005年－2014年）の平均コンバインドレシオは83%、ROEは17.4%であり、ロイズでもトップクラスの高い収益性を確保しています。加えて、過去10年間の収入保険料の年平均成長率は11%、平均純利益も215百万ポンド（約393億円）で推移していることから、今後も安定的な成長が見込まれます。

（4）高度なリスク管理とERM態勢の確立

経験豊富なアンダーライターによる専門性の高い引受ノウハウを活かし、高度なリスク管理とERM態勢を確立しています。S&P社のERMスコアにおいても、最上級の「Very Strong」をロイズ・シンジケートとして唯一付与されています。

4. 本件買収の戦略的目的

（1）世界の保険市場における主導的ポジションの確立

Amlin社は、ロイズで第2位の大手シンジケートを有するほか、再保険事業や欧州大陸事業においても相当な規模と収益を誇り、グローバルに存在感を発揮する保険のトップブランドの一つです。このような世界レベルの主導的プレーヤーを当社グループに迎えることで、「世界トップ水準の保険・金融グループ」としての地位をさらに盤石なものとし、海外事業の規模・収益を拡大していきます。

なお、2014年度の当社グループとAmlin社の単純合算値に基づく正味収入保険料は約3兆3,578億円、純利益は約1,795億円となります。

（2）分散の効いたポートフォリオによる事業基盤の強化

日本国内およびASEAN地域を中心としたポートフォリオ構成の三井住友海上と、欧州および北米を中心としたポートフォリオ構成のAmlin社が統合することで、地理的ポートフォリオとリスクの分散、元受・受再の種目間バランスの向上を実現します。

本件買収により、三井住友海上はグローバルに事業展開するフルラインの保険会社として、国内事業と海外事業が補完し合うバランスの取れた安定性・成長性の高いビジネスモデルを構築し、事業全体の資本効率の向上を図ります。

（3）両社の強みを活かしたグローバルなシナジー効果の発揮

両社の持つネットワークや知見を融合させることで、新たな事業や施策を推進していきます。

▶ ロイズ事業

三井住友海上は2000年に自前のシンジケートを設立し、良質なポートフォリオを維持することで着実な成長を実現し、安定的に利益を上げてきました。本件買収により両社のロイズ事業を統合し、ロイズにおけるマーケットリーダーとしての影響力をさらに高めていきます。

▶ 再保険事業

両社の再保険事業の統合等を進め、再保険市場におけるプレゼンスの向上とリスク管理の強化を図ります。

▶ アジア・米国事業

三井住友海上が有するASEAN全域のネットワークと米国全州の引受ライセンス、Amlin社が有するスペシャルティ種目の引受技術と商品開発力を活かし、グローバルに高品質な商品・サービスを提供していきます。

▶ 欧州大陸事業

Amlin社との間で地域や顧客層、商品の重なりが少ない欧州大陸においては、クロスセ

ル等を通じたポートフォリオの相互補完により、プレゼンスの向上を目指します。

5. 買収手法および手続き

本件買収は、英国法に基づくスキーム・オブ・アレンジメント (Scheme of Arrangement) により実施する予定です。スキーム・オブ・アレンジメントとは、Amlin 社の賛同の下、同社の株主および裁判所の承認を取得することで買収が成立する友好的な買収手法であり、この手続きを通じて、三井住友海上は Amlin 社の株式を 100%取得します。

Amlin 社株主の承認決議については、裁判所が招集する株主集会において出席株主の過半数が承認し、かつ、かかる承認株主の所有に係る議決権数が、議決権行使総数の 75%以上であることが決議要件となります。さらに、本邦金融庁および英国健全性監督機構を含む、各国の金融当局ならびに競争法当局による承認等を経たうえで、裁判所の承認を得る必要があります。

本件買収は、上記の各承認を条件に、2015 年度第 4 四半期中 (2016 年 1 月 - 3 月) に効力が発生することを見込んでいます。手続きの詳細な日程については確定次第、速やかに開示します。

6. 今後の見通し

本件買収による、当社業績への具体的な影響額については、適切な時期に公表する予定です。

以上

1. Amlin 社の概要 (2014 年 12 月末時点)

| | | | |
|---|---|--------------|--------------|
| (1) 正式名称 | Amlin plc | | |
| (2) 設立年月日 | 1998 年 9 月 28 日 | | |
| (3) 本社 | 英国ロンドン | | |
| (4) 代表者の役職・氏名 | 会長 Richard Davey、社長 Charles Philipps | | |
| (5) 従業員数 | 約 1,900 名 | | |
| (6) グループの主な事業内容 | ロイズ事業、再保険事業、欧州・アジア事業 | | |
| (7) 資本金 | 142 百万ポンド | | |
| (8) 格付 | A.M. Best: A+ (Superior) Standard & Poor's Lloyd's Syndicate Assessment: 4+ (Stable) Moody's: A2 (Stable) | | |
| (9) 上場市場 | ロンドン証券取引所 | | |
| (10) 決算期 | 12 月 | | |
| (11) 大株主および持株比率 | Invesco Limited | : | 12.9% |
| | BlackRock, Inc. | : | 5.6% |
| | Baillie Gifford & Co | : | 5.1% |
| | Majedie Asset Management Ltd | : | 4.8% |
| | AXA S.A. | : | 4.7% |
| | JP Morgan Chase & Co | : | 4.0% |
| ※出典: Amlin 社ホームページ | | | |
| (12) 三井住友海上との関係 | 資本・人的関係はありませんが、再保険取引があります。 | | |
| (13) 当該会社の最近 3 年間の連結経営成績および連結財務状態 (単位: 百万ポンド) | | | |
| 決算期 | 2012 年 12 月期 | 2013 年 12 月期 | 2014 年 12 月期 |
| 連結純資産 | 1,498 | 1,679 | 1,783 |
| 連結総資産 | 6,515 | 6,573 | 6,676 |
| 収入保険料 | 2,406 | 2,467 | 2,564 |
| 正味収入保険料 | 2,059 | 2,107 | 2,279 |
| 保険引受利益 | 207 | 283 | 246 |
| 連結当期純利益 | 248 | 299 | 236 |
| コンバインドレシオ | 89% | 86% | 89% |
| 株主資本利益率 (ROE) | 17.4% | 19.8% | 14.1% |

2. ロイズ保険市場の概要

- 17 世紀に発足し、300 年以上の歴史を持つ英国ロンドンにある保険市場の総称。
 - 世界各国の巨大かつ複雑なリスクが日々持ち込まれ、各シンジケート (ロイズにおけるリスクの引受主体) に所属する高い専門性を有する引受人 (アンダーライター) によって、リスク評価や料率設定、保険引受が行われる。
 - ロイズは英国当局の監督を受けるとともに、ロイズ独自の強固な管理・監督態勢を敷いており、ロイズのメンバー (シンジケートの資金拠出者) となること、シンジケートを設立することは容易でなく、厳格な要件をクリアする必要がある。
 - 各シンジケートは、ロイズ・ブランドを使いつつ、世界 80 ヶ国以上で元受保険引受を行う免許を有しており、再保険取引を含めると 200 ヶ国以上の国・地域でリスクの引受を行っている。
 - 2014 年度のロイズ市場全体の総保険料収入は 253 億ポンド (約 4.7 兆円)、税前利益は 32 億ポンド (約 5,900 億円)。市場は毎年 3% (注) 伸びており、堅調な成長性を維持しつつ、2014 年度の ROE は 15% と高い収益性を誇る優良市場。また、同市場には 94 のシンジケートと 59 のマネジングエージェント (保険の引受業務・シンジケートの運営を行う会社) が存在する。
 - 三井住友海上は 2000 年に日本の保険会社として初めて、ロイズの法人メンバーとしてシンジケートを設立し、保険引受を開始した。2007 年にはマネジングエージェントを設立し、すべての運営を自前化するなど、ロイズでの事業基盤を確立している。
- (注) 2010 年から 2014 年までの総保険料収入における平均成長率

重要情報

本ニュースリリースは、いかなる法域においても、MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社（以下、「MD&AD ホールディングス」といいます。）の子会社である三井住友海上火災保険株式会社（以下、「三井住友海上」といいます。MS&AD ホールディングスとあわせて、以下「MS&AD」といいます。）の提案した、Amlin plc（以下、「Amlin」といいます。）の発行済又は発行予定の株式の全てに対して行われる買収オファー（以下、「本件買収」といいます。）その他に従った、有価証券の購入、取得、応募、売却若しくは処分のための申込み、その誘引若しくは勧誘又は投票や承認の勧誘を意図しておらず、また、それらを構成するものでもありません。本件買収は、2006年英国会社法 Part 26 に基づくスキーム・オブ・アレンジメントの方法によることが予定されており、Amlin 株主とのやり取りは、本件買収に関する全ての条件が記載されているスキーム書類（本件買収に関する議決権の行使方法の詳細を含みます。）を通じて行われることが予定されています。本件買収に関連する議決権の行使又はその他の本件買収に対する回答は全て、スキーム書類に記載される情報のみに基づき行われる必要があります。Amlin 株主に対してスキーム書類及びその他の本件買収に関する公式書類が送付された後、Amlin 株主には、それらを注意深く閲読することが推奨されます。

本ニュースリリースに含まれている情報は、全ての事項を網羅的に記載することを企図したものではありません。MS&AD、その株主、その直接ないし間接的な子会社又は関係会社、あるいは、これらの取締役、役員、従業員、アドバイザー又は代理人その他の者は、明示あるいは黙示を問わず、本ニュースリリースに記載されている情報、あるいは、MS&AD、その子会社若しくは関係会社又は本件買収に関するその他の情報（書面、口頭、映像あるいは電磁的方法で伝達されるとを問わず、かつ、伝達あるいは入手可能とされた方法を問いません）について、その真実性、正確性又は完全性（あるいは何らかの情報が本ニュースリリースから省略されているか否か）に関して一切表明ないし保証をする責任を負うものではありません。

本ニュースリリース又はその他会合で議論されたその他の資料に含まれている情報又はその完全性、正確性若しくは公正性に関してその目的を問わず依拠することはできません。

海外居住者

本ニュースリリースに含まれる情報は、直接又は間接を問わず、その地において当該情報を公表若しくは流布させることが当該法域における法律違反となり、又はその公表若しくは流布により、MS&AD によって過度の負担であるとみなされる公的若しくは他の同意、登録若しくは届出その他の手続の遵守義務を発生させることになるであろういかなる国（以下、「制限法域」といいます。）において発表又は流布されるものではありません。また、株主のうち、英国若しくは日本以外の法域の居住者、国民若しくはそれらの国の国籍保有者又はそうした者の代理人、被任命者、管理人若しくは受託者に対して当該情報（及び関連するオファー）を供給することができるかどうかについては、関連する法域の法の影響を受ける可能性があります。英国若しくは日本以外の法域の法に従う者又は英国若しくは日本以外の国に居住する Amlin 株主は、適用される法律又は規制上の要件を把握し、遵守すべきです。適用される制約の不遵守は、当該法域における証券取引法違反を構成する可能性があります。本件買収は、直接又は間接を問わず、制限法域内の者に対して若しくは制限法域内で又は制限法域から行うものではなく、また、制限法域から若しくは制限法域内で本件買収に応じることはできません。

将来の見通しに関する記載

本ニュースリリースには、将来の見通しに関する記載が含まれています。「目標とされている」、「考えられている」、「期待されている」、「予期されている」、「意図されている」、「予定されている」、「評価されている」、「目指されている」、「するだろう」、「可能性がある」、「予見されている」、「計画されている」及びこれらに類する表現を用いた記載（その反対の意味の記載を含みます。また、これらの記載に限られません。）は全て、将来の見通しに関する記載です。将来の見通しに関する記載には、以下のものが含まれます：本件買収により MS&AD にも

たらされる期待利益に関する記載、本件買収の背景及び理由、MS&AD又はAmlinの今後の見通しに関する情報及び将来の資本支出、経費、収益、利益、シナジー、経済性及び将来性、将来の見通しに関する記載は、その性質からして、リスクや不確実性を含んでおり、それらのリスクや不確実性は、予期される結果に重大な影響を及ぼす可能性があります。また、そのようなリスクや不確実性は、一定の重要な前提に依拠しています。これら多くの要因は、実際の結果と、将来の見通しに関する記載において推定され又は示唆された内容（Amlinの三井住友海上との統合の成功に関するリスクを含みます：Amlinとの統合に関して想定されていた費用の増加、期待された利益を得るための投資の必要、三井住友海上に明らかにならなかった、本件買収によって実現される利益のタイミング及び額に影響を与えるAmlinに関連する事実等。）との間に、重大な乖離をもたらす可能性があります。MS&ADは、将来の見通しに関する記載についてのAmlinの期待の変化若しくはニュースリリースの日以降に発生した、将来の見通しに関する記載が前提としている出来事、条件若しくは状況の変更を反映した将来の見通しに関する記載の更新若しくは変更を公表すること又は本ニュースリリースに含まれるその他の情報を最新のものに保つことについて、義務を負い又は保証を行うことを明示的に否認します。そのため、本ニュースリリースの日において記載されたものに過ぎない将来の見通しに関する記載を過度に信用すべきではありません。